

## 第 15 回小胞体ストレス研究会 プログラム

1 日目：2022 年 7 月 30 日（土）

13:00 開場/受付開始

13:30 開会の挨拶

13:35 特別講演 森和俊 「小胞体ストレス研究の温故知新」

(座長：今泉和則)

発表 40 分+質問 10 分 (合計 50 分)

14:25 休憩 (10 分)

14:35 セッション 1-A (座長：堀修) (発表 15 分+質問 5 分) ×5 名

1. 14:35-14:55 潮田 亮 (京産大・生命・准教授)

「レドックス制御を介した小胞体恒常性維持機構」

2. 14:55-15:15 三宅雅人 (徳島大・先端酵素研・准教授)

「小胞体ストレスの調節による膵β細胞の機能制御」

3. 15:15-15:35 中務邦雄 (名古屋市立大・理・准教授)

「Accumulation of non-imported mitochondrial metabolic enzyme elicits ectopic metabolic stress」

4. 15:35-15:55 林 裕輝 (東京大・薬・研究員)

「選択的リソソーム分解を介した小胞体における膜タンパク質の新たな品質管理機構」

5. 15:55-16:15 木俣行雄 (奈良先端大・バイオ・准教授)

「恒常的 UPR 活性型酵母の性状と応用」

16:15 休憩 (10 分)

16:25 特別講演 遠藤斗志也

「タンパク質と脂質の輸送から見えてきたミトコンドリア生合成と機能維持の分子機構」

(座長：西頭英起)

発表 40 分+質問 10 分 (合計 50 分)

17:15 若手優秀発表賞 発表

写真撮影・休憩・移動

17:30 ポスターセッション@3 階 3-A 教室、301 教室

(18:30 終了)

2日目：2022年7月31日（日）

9:00 開場

9:30 2日目始まりの挨拶

9:35 **セッション 2-A**（座長：上原孝）（発表 15 分＋質問 5 分）× 5 名

6. 9:35- 9:55 片桐豊雅（徳島大・先端酵素研・教授）  
「新たな小胞体ストレス応答機構を通じたがんの生存戦略」
7. 9:55-10:15 齋藤 敦（広島大・医・准教授）  
「小胞体膜局在分子 OASIS による核膜ストレス応答を介した細胞増殖と癌化制御」
8. 10:15-10:35 佐々木桂奈江（兵庫県立大・理・准教授）  
「抗がん剤 OSW-1 によるゴルジ体ストレス応答及び細胞死の解析」
9. 10:35-10:55 及川大輔（大阪公立大・医・准教授）  
「直鎖状ユビキチン鎖を標的とした TDP43 凝集体形成抑制手法の開発」
10. 10:55-11:15 岡元拓海（長崎大・薬・研究員）  
「高浸透圧ストレス誘導性ユビキチンリガーゼ RNF183 によるイオントランスポーター制御の解析」

11:15 休憩（10 分）

11:25 **特別講演 井垣達吏 「細胞競合の分子機構」**

（座長：親泊政一）

発表 40 分＋質問 10 分（合計 50 分）

12:15 昼食

13:45 **セッション 2-B**（座長：木俣行雄）（発表 15 分＋質問 5 分）× 4 名

11. 13:45-14:05 垣花太一（新潟大・医・助教）  
「ストレス顆粒形成異常の分子機構の解明」
12. 14:05-14:25 千葉志信（京産大・生命・教授）  
「真正細菌の翻訳アレスト因子の網羅的探索」
13. 14:25-14:45 奥村正樹（東北大・学際研・准教授）  
「PDI ファミリーメンバー PDIA6 の新規構造と機能」
14. 14:45-15:05 藤木幸夫（兵庫県立大・理・特任教授）  
「ペルオキシソームの恒常性と酸化ストレス応答」

15:05 休憩 (10分)

15:15 セッション 2-C (座長：片桐豊雅) (発表 15分+質問 5分) ×5名

15. 15:15-15:35 石川善弘 (UCSF (USA)・助教)

「Post-translational modifications provided by lysyl hydroxylase 3 plays a critical role to form  $\alpha 1 \alpha 1 \alpha 2$  type IV collagen heterotrimer.」

16. 15:35-15:55 寶関 淳 (京都先端大・バイオ・教授)

「タンパク質代謝異常に伴う小胞体レドックス変化の機序」

17. 15:55-16:15 内山圭司 (徳島大・先端酵素研・特任准教授)

「小胞体ストレス依存的な IRE1 の小胞体-ゴルジ体間の輸送機構」

18. 16:15-16:35 門脇寿枝 (宮崎大・医・学部准教授)

「小胞体膜上での翻訳時分解の制御機構」

19. 16:35-16:55 堀 修 (金沢大・医・教授)

「神経系における ATF6beta の役割」

16:55 休憩 (10分)

17:05 マイスターズレクチャー 永田和宏 「分子シャペロンに助けられて」  
(座長：潮田亮) 発表 40分+質問 10分 (合計 50分)

17:55 閉会の挨拶

(18:00 終了)

## ポスター演題

1. 東晃太（東北大・理・院生）  
「PDI ファミリー酵素 PDIR の機能構造解析」
2. 遠藤雅（筑波大・ヒューマンバイオ・院生）  
「小胞体ストレス応答における RGG-motif タンパク質依存的な転写後制御の探索」
3. 川崎あや（京都大・生命・院生）  
「小胞体ストレスが誘導する細胞競合の遺伝学的解析」
4. 川島晃（帝京大・医療技術・研究員）  
「Mycobacterium ulcerans の外毒素マイコラクトンは SEC61A1 を介してアポトーシスを誘導する」
5. 木俣有紀（奈良先端大・バイオ・研究員）  
「PC 生合成中間体 PMME による小胞体ストレス惹起」
6. 黒木春那（岡山大・医歯薬・院生）  
「小胞体ストレスセンサー IRE1 $\alpha$  を標的とした分子特異的酸化修飾阻害薬の開発」
7. 河野望（東京大・薬・准教授）  
「生体膜脂質による IRE 1 活性化機構」
8. 小西雄大（京産大・生命・院生）  
「ER 局在型 Hfd1 はコエンザイム Q 生合成経路での機能を保持する」
9. 小森亮太（兵庫県立大・生命・助教）  
「XBP1u の小胞体膜上での翻訳機構の解析」
10. 種村裕幸（第一三共/京産大・生命・客員研究員）  
「Hspa5 プロモーターを用いた新たな抗体安定発現系の構築」
11. 中原尚太（奈良先端大・バイオ・院生）  
「Aspergillus 属真菌における Ire1 機能低下による蛋白質分泌量増大」
12. 倪 申玮（東京大・薬・院生）  
「飽和脂肪酸によって小胞体ストレス応答が起きる分子メカニズムの解明」
13. 野井健太郎（東京農工大・工・助教）  
「Hsp104 のアミロイド線維に対する分解機構の解明」

14. FAN QIYAN (金沢大・医薬保健・院生)  
「Brain injury triggers cell-type specific endoplasmic reticulum stress responses in different time courses.」
15. 藤原圭吾 (京産大・生命・研究員)  
「モデル細菌における新生鎖ダイナミクスの網羅的検出」
16. 方 洋 (奈良先端大・バイオ・院生)  
「RNase や kinase 活性を要しない Ire1 の新機能？」
17. 松崎元紀 (徳島大・先端酵素研・助教)  
「IRE1 による定量的小胞体ストレスセンシングの分子機構」
18. 松久幸司 (広島大・医・助教)  
「嚢胞性線維症原因分子 CFTR の機能回復薬探索」
19. 山崎幹大 (岐阜薬科大・薬・学部生)  
「青色 LED 光による視細胞の小胞体ストレス障害に対する微細藻類由来活性成分の保護作用」
20. 小原圭介 (名古屋大・理・講師)  
「最後の機能未知必須タンパク質による新生膜タンパク質の折り畳み補助」
21. 藤井唱平 (京産大・生命・院生)  
「小胞体の機能を支えるオルガネラ環境の探求」
22. 上垣日育 (京産大・生命・院生)  
「小胞体ジスルフィド還元酵素 ERdj5 の還元メカニズムの解明」
23. 堤 智香 (京産大・生命・院生)  
「ERp18 の亜鉛依存的な活性制御機構の解明」
24. 和田匠太 (京産大・生命・院生)  
「レドックス制御を介した小胞体ストレスセンサーATF6 制御機構の解明」
25. 杉澤亜美 (京産大・生命・院生)  
「近接依存性標識を用いた小胞体タンパク質品質管理機構の評価」